

平成 23 年 3 月 2 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

新たな HGF 遺伝子治療の医薬用途特許が成立(日本)
－脳梗塞の治療または予防が対象－

当社は、日本において、脳梗塞を対象とする HGF 遺伝子の医薬特許が成立し、本日、特許公報(特許第 4,642,303 号)が発行されたことをお知らせします。

脳梗塞(脳卒中)は、血栓や動脈硬化などによる脳動脈閉塞あるいは狭窄のため、脳が虚血状態になり酸素や栄養が行き渡らず、脳組織が壊死またはそれに近い状態になることにより発症します。

日本人の死因の中でも、がん、心臓病に次いで多い疾患であり、脳血管疾患の国内患者数は約 135 万人といわれ、毎年およそ 20 万人が新たに脳梗塞を発症していると推測されています。また死に至らずとも、病後に、片麻痺(半身不随、運動障害)、言語障害、意識障害などの重篤な後遺症が残ることが多いのが特徴であり、現状ではリハビリ中心の治療しかなく、今後効果的な治療法あるいは予防法の確立が望まれております。

本特許は、HGF が有する強力な血管新生作用に加え神経保護作用(神経細胞死抑制作用)にも着目し、HGF 遺伝子をクモ膜下腔に投与することにより、安全かつ効果的な脳梗塞の治療または予防を可能とするものです。

治療・予防の対象としては、脳梗塞に起因する障害、脳の血流量低下に伴う障害、脳梗塞後において神経細胞保護作用により改善が期待される障害を挙げることができ、具体的には、例えば脳梗塞後遺症としての痴呆症状の治療・改善などが挙げられます。

なお、当社は海外においても同様の権利を有しており、HGF 遺伝子治療の国際開発にあたり特許網構築を図っております。

米国特許;第 6,936,594 号(2005 年 8 月登録)

欧州特許;第 1,132,098 号(2010 年 5 月登録)

中国特許;第 1,194,762 号(2005 年 3 月登録)

さらに当社は、本特許以外にも HGF 遺伝子治療に関わる各種医薬用途についても順次追加特許出願しており、臨床応用範囲の拡大に向けて努力して参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上